



DESIGN & CUSTOMIZE

デザイン組み込みマニュアル

パッケージ共通

このたびは、弊社パッケージをご利用いただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、主にデザインの組み込みについて説明しています。

尚、内容はバージョンアップなどにより予告なく変更される場合があります。

CONTENTS ---目次---

0.操作説明	5
0-1. テンプレートの編集	5
0-2. ページ構成	7
0-3. 入力可能内容の変更	10
0-3-1. テキスト入力用コンポーネントを変更	10
0-3-2. セレクトボックスの選択肢を変更	12
0-3-3. テーブルの登録データを選択肢としている場合の変更	14
0-4. 入力必須の変更	16
0-5. 入力項目の追加	19
0-6. 表示内容の制御	24
0-7. ページの追加	26
0-7-1. ログイン種別で共通のテンプレートを作成する場合	26
0-7-2. ログイン種別ごとに用意されたテンプレート	28
1.デザイン組み込みについて	29
2.ディレクトリ[階層構造]	30
2-1.ディレクトリ	30
2-2.ファイル名	33
3.デフォルトのデザイン構成	34
3-1.HTML基本構成	34
3-1-1. 指定する言語	34
3-1-2. キーワードの設定 (METAタグ)	35
3-1-3. サイトの説明・紹介文の設定 (METAタグ)	35
3-2.RSSフィードへのリンク	35
3-3.外部ファイル	35
3-3-1. スタイルシート	35
3-3-2. 汎用linkタグ	36
3-3-3. スクリプト	36
3-4.サイトタイトル	36
4.コマンドコメントについて	37

4-1.処理先一覧.....	37
4-2.基本デザインの切り離し.....	38
4-3.ブロックデザインの切り離し.....	39
4-4.ページの読み込み.....	40
4-5.フォーム.....	41
4-6.エラーメッセージ.....	44
4-7. if関数による条件分岐.....	44
5.検索のパラメータについて.....	45
5-1. search.phpを利用した検索.....	45
5-2.検索に関するリファレンス.....	46
5-2-1. alias.....	46
5-2-2. gorup keyword.....	46
5-2-3. match and.....	46
5-2-4. match or.....	47
5-2-5. match between.....	47
5-2-6. match keyword.....	48
5-2-7. match like.....	48
5-2-8. match comp.....	48
6.外部ファイルの追加・削除.....	49
6-1.スタイルシートの追加・削除.....	49
6-2. linkタグの追加・削除.....	49
6-3.スクリプトの追加・削除.....	49
7.必須項目・入力制限の設定.....	50
7-1.必須項目の設定.....	50
7-2.入力制限の変更.....	50
8.エラーメッセージ.....	51
8-1.テンプレート.....	51
8-2.エラーメッセージの表示.....	51
8-3.エラーメッセージの追加・削除.....	52
8-3-1. エラーメッセージの追加.....	52
8-3-2. エラーメッセージの削除.....	53

9.テーブルにテンプレートを追加	54
9-1. htmlファイルを作成	54
9-2. テンプレートの追加	55
9-3. テーブルのインポート	56
10. サイト運営の準備	57
10-1. パッケージの設置	57
10-2. システムの設定	57
10-2-1. サイトのURL	57
10-2-2. サイトのタイトル	58
10-2-3. サイトの説明（概要）	58
10-2-4. サイトのキーワード	58
10-3. ページの作成	59

0.操作説明

0-1. テンプレートの編集

ログイン種別 (nobody/nUser/cUser/admin) ごとにテンプレートが用意されています。

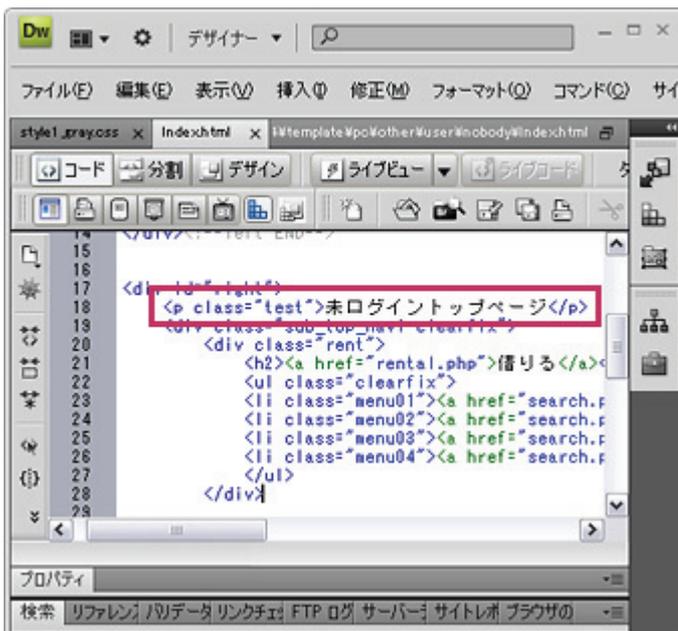
[参照：2.ディレクトリ【階層構造】](#)



1 `./template/pc/other/user/ ログイン種別/Index.html`

- nobody・・・未ログイン
- nUser・・・会員ユーザー①
- cUser・・・会員ユーザー②
- admin・・・管理者

未ログイントップページを編集しても、他の種類のトップページは編集されません。



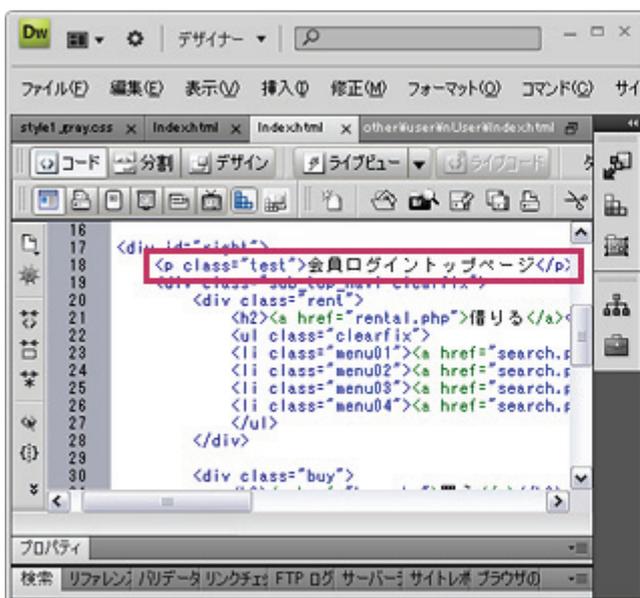
2 `./template/pc/other/user/nobody/Index.html`

未ログイントップページを編集します。

- 3 未ログイン時のトップページに変更が反映されました。しかし、上記で述べましたとおり、ログイン種別ごとにテンプレートは分かれていますので会員ユーザー①としてログインした場合トップページは変更されていません。



- 4 `./template/pc/other/user/nUser/Index.html`
 会員ユーザー①のトップページを変更したい場合は、先程と同様に会員ユーザー①のテンプレートを編集する必要があります。



0-2. ページ構成

複数のテンプレートを組み合わせて表示しています。

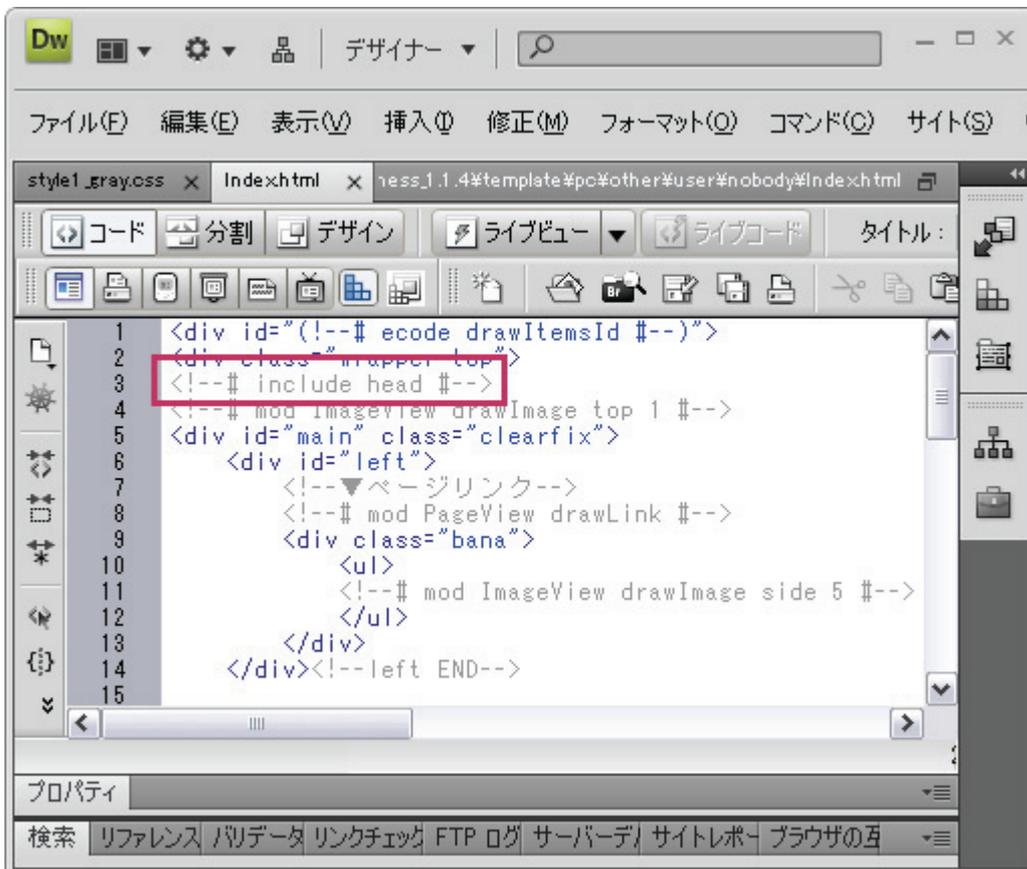
[参照：4.コマンドコメントについて](#)

- 1 template/pc/other/user/nobody/Index.html を開いても、ヘッダーに当たる部分の記述がありません。代わりにコマンドコメント<!--# include head #-->が記述されています。

<!--# include head #-->に含まれるテンプレート

template/pc/other/common/Head.html

template/pc/other/user/ユーザー種別/Head.html



2 テンプレート Head.html を編集します。

```
<!--# ifbegin not global ASP #-->
    <p class="data"><span class="tel"><!--# ecode getSiteProfile tel #--></span>
<!--# endif #-->
    </div>
</div>
<div class="head_menu clearfix">
    <ul>
    <li class="menu01"><a href="index.php">トップページ</a></li>
    <li class="menu02"><a href="info.php?type=profile&id=COMPDATA">会社概要</a></li>
    <li class="menu03"><a href="page.php?p=Use">サイトご利用方法</a></li>
    <li class="menu04"><a href="regist.php?type=inquiry">お問い合わせ</a></li>
    <li class="menu05"><a href="other.php?key=examination">お気に入りリスト</a></li>
    </ul>
</div>
</div><!--head END-->
```



```
<!--# endit #-->
    <!--# mod cUserView drawTemplate headMenu #-->
    <li class="login"><a href="login.php">ログイン</a></li>
    </ul>
<!--# ifbegin not global ASP #-->
    <p class="data"><span class="tel"><!--# ecode getSiteProfile tel #--></span>
<!--# endif #-->
    </div>
</div>
<div class="head_menu clearfix">
    <ul>
    <li class="menu01"><a href="index.php">トップページ</a></li>
    </ul>
</div>
</div><!--head END-->
```

- 3 ヘッダーが編集され、<!--# include head #-->が記述されている html ファイルに反映されます。



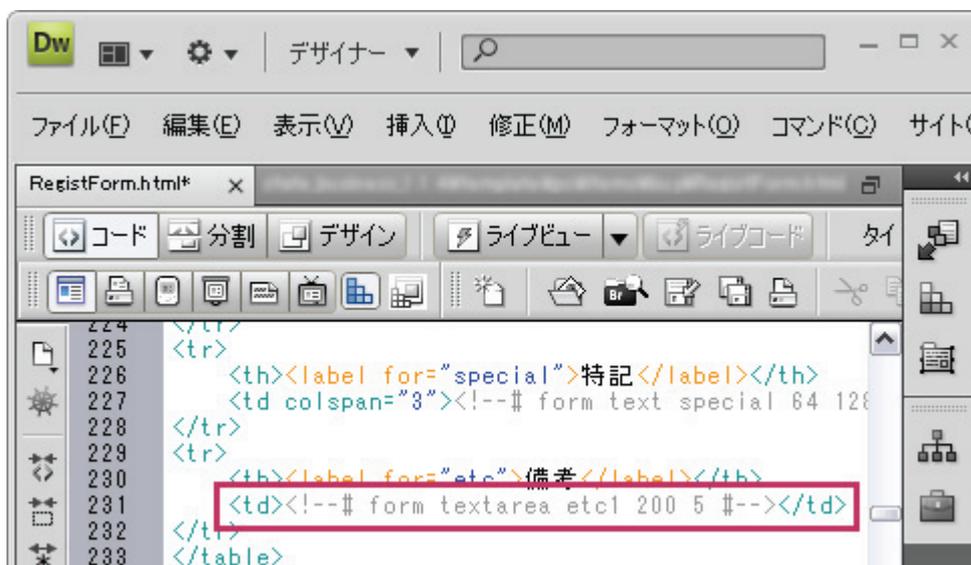
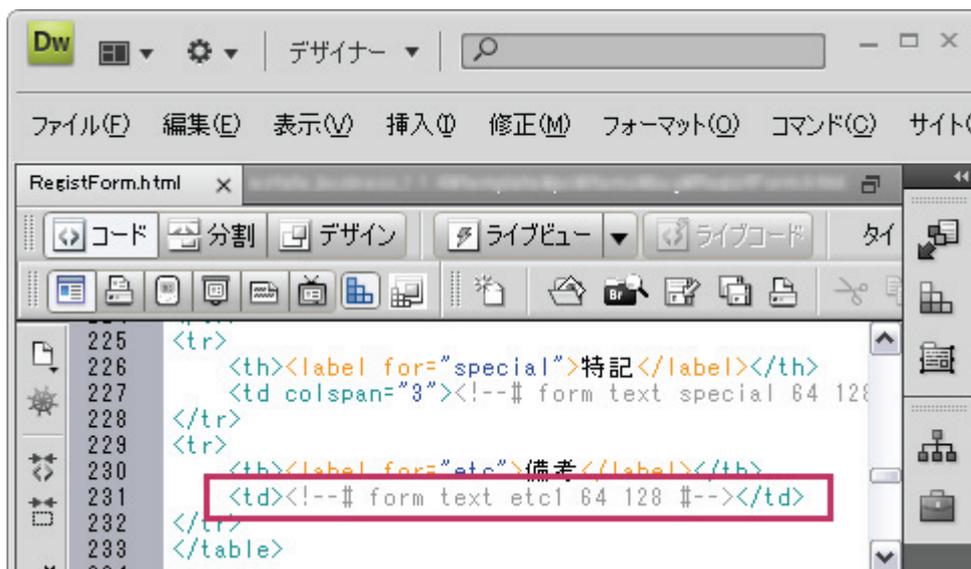
0-3. 入力可能内容の変更

RegistForm.html よりデータベースに登録する内容の変更方法です。

[参照：4-5.フォーム](#)

0-3-1. テキスト入力用コンポーネントを変更

- 1 1行分の入力ができる TextBox から複数行の入力ができる TextArea に変更する場合、
`<!--# form text etc1 64 128 #-->`を`<!--# form textarea etc1 200 5 #-->`と変更します。



2 ./lst 以下の csv ファイルで文字数を変更します。

varchar 128 は、最大 128 文字までしか入力できませんので、varchar 1024 と入力可能文字数を増やすか、string(無制限)に変更する必要があります。

	A	B	C	D
72	architectur	varchar	64	
73	special	varchar	128	
74	etc1	varchar	128	
75	ad_money	varchar	128	
76	motoduke	string		



	A	B	C	D
72	architectur	varchar	64	
73	special	varchar	128	
74	etc1	string	128	
75	ad_money	varchar	128	
76	motoduke	string		

※lst の編集が終わったら tool.php より再編成を行なってください。

※運営開始前で既に登録済みの情報が消えても問題なければインポートでも可能です。

0-3-2. セレクトボックスの選択肢を変更

1

```
<!--# form option park /空有/満車/近隣/無し 未選択/空有/満車/近隣/無し #-->
```

```
<!--# form option park /空きあり/満車/近隣/無し 未選択/空きあり/満車/近隣/無し #-->
```

値が空有/満車/近隣/無しの場合は、最大文字数が2文字ですので csv ファイルでは、varchar 2 となります。

『空有』を『空きあり』に変更すると、最大文字数が4文字となります。

```
\r\r
<th>接道</th>
<td>
<!--# form option touching_road /東/西/南/北 未選択/東/西/南/北 #-->
</td>
</tr>
<tr>
<th>駐車場</th>
<td>
<!--# form option park /空有/満車/近隣/無し 未選択/空有/満車/近隣/無し #-->
</td>
</tr>
<tr>
<th>建築時期</th>
<td class="(<!--# syscode is_validate built_y/built_y_REGEX/built_m/built_m_REGEX #-
西暦<!--# form text built_y 4 4 20 #-->年
<!--# form option built_m /1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/ --/1/2/3/4/5/6/7/8/9/10
<!--# form checkbox built_new TRUE 新築 #-->
<!--# syscode validate built_y built_y_REGEX built_m built_m_REGEX #-->
</td>
</tr>
<tr>
<th>設備・条件</th>
```

2 2 2 2



```
\r\r
<th>接道</th>
<td>
<!--# form option touching_road /東/西/南/北 未選択/東/西/南/北 #-->
</td>
</tr>
<tr>
<th>駐車場</th>
<td>
<!--# form option park /空きあり/満車/近隣/無し 未選択/空きあり/満車/近隣/無し
</td>
</tr>
<tr>
<th>建築時期</th>
<td class="(<!--# syscode is_validate built_y/built_y_REGEX/built_m/built_m_REGEX #-
西暦<!--# form text built_y 4 4 20 #-->年
<!--# form option built_m /1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/ --/1/2/3/4/5/6/7/8/9/10
<!--# form checkbox built_new TRUE 新築 #-->
<!--# syscode validate built_y built_y_REGEX built_m built_m_REGEX #-->
</td>
</tr>
<tr>
<th>設備・条件</th>
```

4 2 2 2

- 2 上記の場合、csv ファイルの入力可能文字数を varchar 4 に変更する必要があります。

	A	B	C	D
35	item_floor	char	8	
36	touching_rc	char	1	
37	park	varchar	2	
38	built_y	varchar	4	
39	built_m	varchar	2	



	A	B	C	D
35	item_floor	char	8	
36	touching_rc	char	1	
37	park	varchar	4	
38	built_y	varchar	4	
39	built_m	varchar	2	

※lst の編集が終わったら tool.php より再編成を行なってください。

※運営開始前で既に登録済みの情報が消えても問題なければインポートでも可能です。

0-3-3. テーブルの登録データを選択肢としている場合の変更

- 1 tdb/items/other.csv ファイルを開き、項目を追加します。

Microsoft Excel - other.csv

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W)
 Contribute(U) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

Contribute で開く Microsoft Office Live に移動する 開く 保存

	A	B	C	D	E	F	G
20	20		IO020	ペット相談	1	20	
21	21		IO021	1階限定	1	21	
22	22		IO022	ガスコンロ	1	22	
23	23		IO023	CATV	1	23	
24	24		IO024	角部屋	1	24	
25							
26							
27							
28							

other/ NUM



Microsoft Excel - other.csv

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W)
 Contribute(U) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

Contribute で開く Microsoft Office Live に移動する 開く 保存

	A	B	C	D	E	F	G
19	19		IO019	フローリング	1	19	
20	20		IO020	ペット相談	1	20	
21	21		IO021	1階限定	1	21	
22	22		IO022	ガスコンロ	1	22	
23	23		IO023	CATV	1	23	
24	24		IO024	角部屋	1	24	
25	25		IO025	テスト項目を追加	1	25	
26							
27							
28							

other/ 合計=51 NUM

2 tool.php より other のインポートを行います。登録フォームに、選択肢が追加されます。

設備・条件	<input type="checkbox"/> 図面有	<input type="checkbox"/> 最上階	<input type="checkbox"/> 追焚き
	<input type="checkbox"/> CSアンテナ	<input type="checkbox"/> TVドアホン	<input type="checkbox"/> 画像有
	<input type="checkbox"/> 礼金無	<input type="checkbox"/> エアコン	<input type="checkbox"/> BSアンテナ
	<input type="checkbox"/> 楽器相談	<input type="checkbox"/> 駐車場有	<input type="checkbox"/> 敷金無
	<input type="checkbox"/> ロフト付	<input type="checkbox"/> オートロック	<input type="checkbox"/> 事務所可
	<input type="checkbox"/> 2階以上	<input type="checkbox"/> バス・トイレ別	<input type="checkbox"/> 室内洗濯機置場
	<input type="checkbox"/> フローリング	<input type="checkbox"/> ペット相談	<input type="checkbox"/> 1階限定
	<input type="checkbox"/> ガスコンロ	<input type="checkbox"/> CATV	<input type="checkbox"/> 角部屋



設備・条件	<input type="checkbox"/> 図面有	<input type="checkbox"/> 最上階	<input type="checkbox"/> 追焚き
	<input type="checkbox"/> CSアンテナ	<input type="checkbox"/> TVドアホン	<input type="checkbox"/> 画像有
	<input type="checkbox"/> 礼金無	<input type="checkbox"/> エアコン	<input type="checkbox"/> BSアンテナ
	<input type="checkbox"/> 楽器相談	<input type="checkbox"/> 駐車場有	<input type="checkbox"/> 敷金無
	<input type="checkbox"/> ロフト付	<input type="checkbox"/> オートロック	<input type="checkbox"/> 事務所可
	<input type="checkbox"/> 2階以上	<input type="checkbox"/> バス・トイレ別	<input type="checkbox"/> 室内洗濯機置場
	<input type="checkbox"/> フローリング	<input type="checkbox"/> ペット相談	<input type="checkbox"/> 1階限定
	<input type="checkbox"/> ガスコンロ	<input type="checkbox"/> CATV	<input type="checkbox"/> 角部屋
	<input type="checkbox"/> テスト項目を追加		

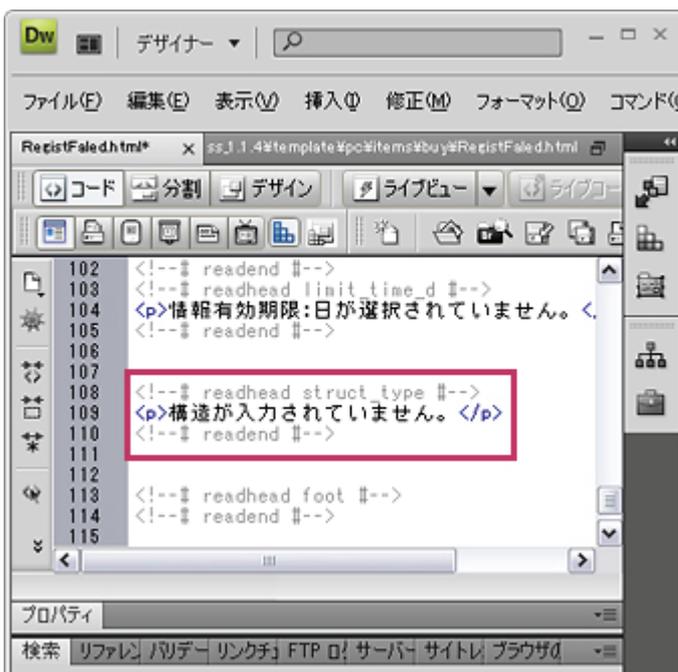
0-4. 入力必須の変更

入力必須の設定、解除をすることができます。

参照：7.必須項目・入力制限の設定

- 1 .lst/csv の struct_type の D 列（regist フォーム） E 列（edit フォーム）に Null と記述します。

	A	B	C	D	E	F
27	traffic3_walk	int				/^[¥d]*\$/
28	traffic3_bus	int				/^[¥d]*\$/
29	struct_type	varchar	128	Null	Null	
30	room_type	varchar	8			
31	room_type_sub	varchar	128			



- 2 RegistFaled.html にエラー時の文章を追加

```
<!--# readhead struct_type #-->
<p>構造が入力されていません。</p>
<!--# readend #-->
```

- 3 RegistForm.html にある構造 (struct_type) を必須項目に変更します。

```

74 <!--# syscode validate traffic3_walk_REGEX traffic3_t
75 </td>
76 </tr>
77 </table>
78
79 <table>
80 <tr>
81 <th><label for="struct_type">構造</label></th>
82 <td>
83 <!--# form text struct_type 64 128 #-->
84 </td>
85 </tr>
86 </table>
87

```



```

74 <!--# syscode validate traffic3_walk_REGEX traffic3_t
75 </td>
76 </tr>
77 </table>
78
79 <table>
80 <tr>
81 <th><label for="struct_type">構造</label></th>
82 <td class="(!--# syscode is_validate struct_type #--)">
83 <!--# form text struct_type 64 128 #-->
84 <!--# syscode validate struct_type #-->
85 </td>
86 </tr>
87 </table>

```

.lst/csv ファイルの A 列で定義されている struct_type を用いて下記のように設定します。

td のクラス名を表示させるコマンドコメントです。

```
<td class="(!--# syscode is_validate struct_type #--)">
```

→<td class="validate">と表示されます。

エラーメッセージを表示させるコマンドコメントです。

```
<!--# syscode validate struct_type #-->
```

→<p>構造が入力されていません。</p>と表示されます。

4

入力されなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

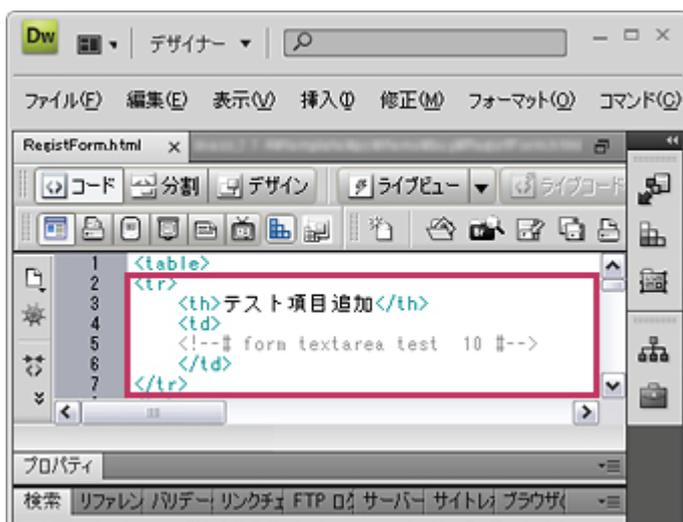
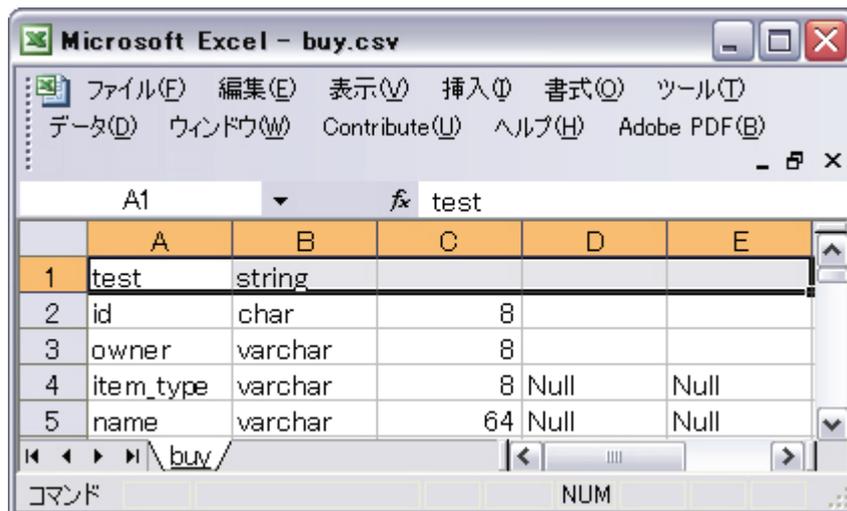
※必須設定の変更を行なった際はインポート、再編成は特に必要ありません。

沿線・最寄り駅3	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">未選択 ▼</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">未選択 ▼</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 徒歩 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分 バス <input style="width: 30px;" type="text"/> 分 </div>
構造【必須】	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div> <p style="color: red; margin: 0;">構造入力されていません。</p>

0-5. 入力項目の追加

データベースに登録する項目を追加します。

- 1 ./lst 以下の CSV ファイルに項目を追加します。
 ※lst の編集が終わったら tool.php より再編成を行なってください。
 ※運営開始前で既に登録済みの情報が消えても良いのでしたらインポートでも構いません。



- 2 RegistForm.html を編集します。

<!--# form textarea test 10 #-->
を記述します。

- 3 tool.php よりテーブルの再編成後、登録フォームに、項目が追加されます

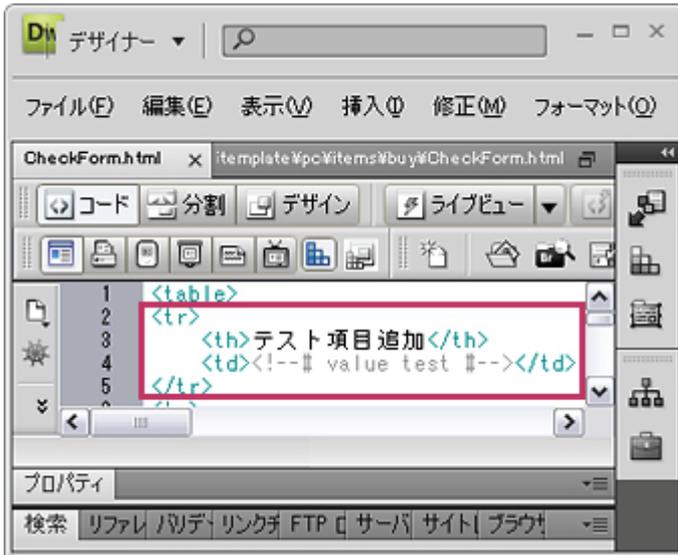
[買う]物件の追加

物件種別【必須】	<input checked="" type="radio"/> 一戸建て <input type="radio"/> マンション <input type="radio"/> 土地 <input type="radio"/> 事業用
名称【必須】	<input type="text"/>
価格【必須】	<input type="text"/> 万円



[買う]物件の追加

テスト項目追加	<input type="text"/>
物件種別【必須】	<input checked="" type="radio"/> 一戸建て <input type="radio"/> マンション <input type="radio"/> 土地 <input type="radio"/> 事業用
名称【必須】	<input type="text"/>
価格【必須】	<input type="text"/> 万円



- 4 CheckForm.html を編集します。
 <!--# value test #-->を記述します。

- 5 登録フォームで入力されると、確認ページで入力された文字が表示されます。

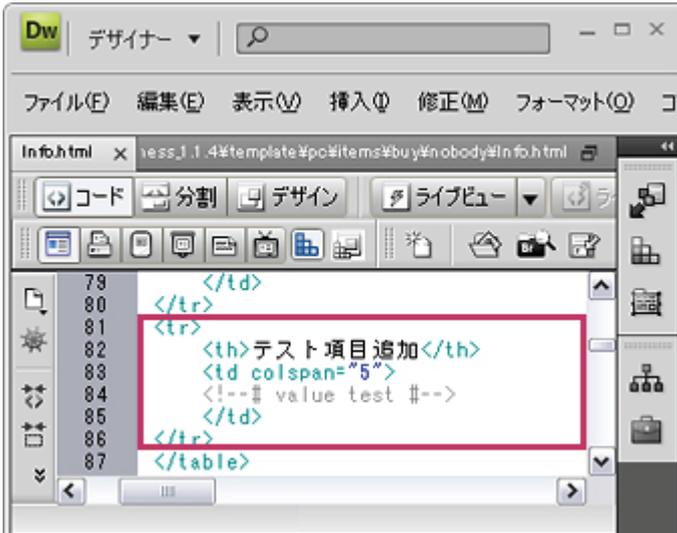
[買う]物件の追加

物件種別	一戸建て
名称	名称



[買う]物件の追加

テスト項目追加	テスト
物件種別	一戸建て
名称	44



6 Info.html を編集します。

<!--# value test #-->を記述します。

7 登録フォームで入力されると、確認ページで入力された文字が表示されます。

名称 (IB000031)

お気に入りリストに追加 印刷画面を表示する 情報更新日:2011/06/02 情報有効期限:2012/01/01 掲載期限まであと**212日**

【物件種別:一戸建て】

価格	1000万円	間取り		接道	
築年月	20年月	敷地面積	100m ²	建物面積	0m ²
住所	滋賀県草津市西洪川1-1-18				
アクセス					



名称 (IB000031)

お気に入りリストに追加 印刷画面を表示する 情報更新日:2011/06/02 情報有効期限:2012/01/01 掲載期限まであと**212日**

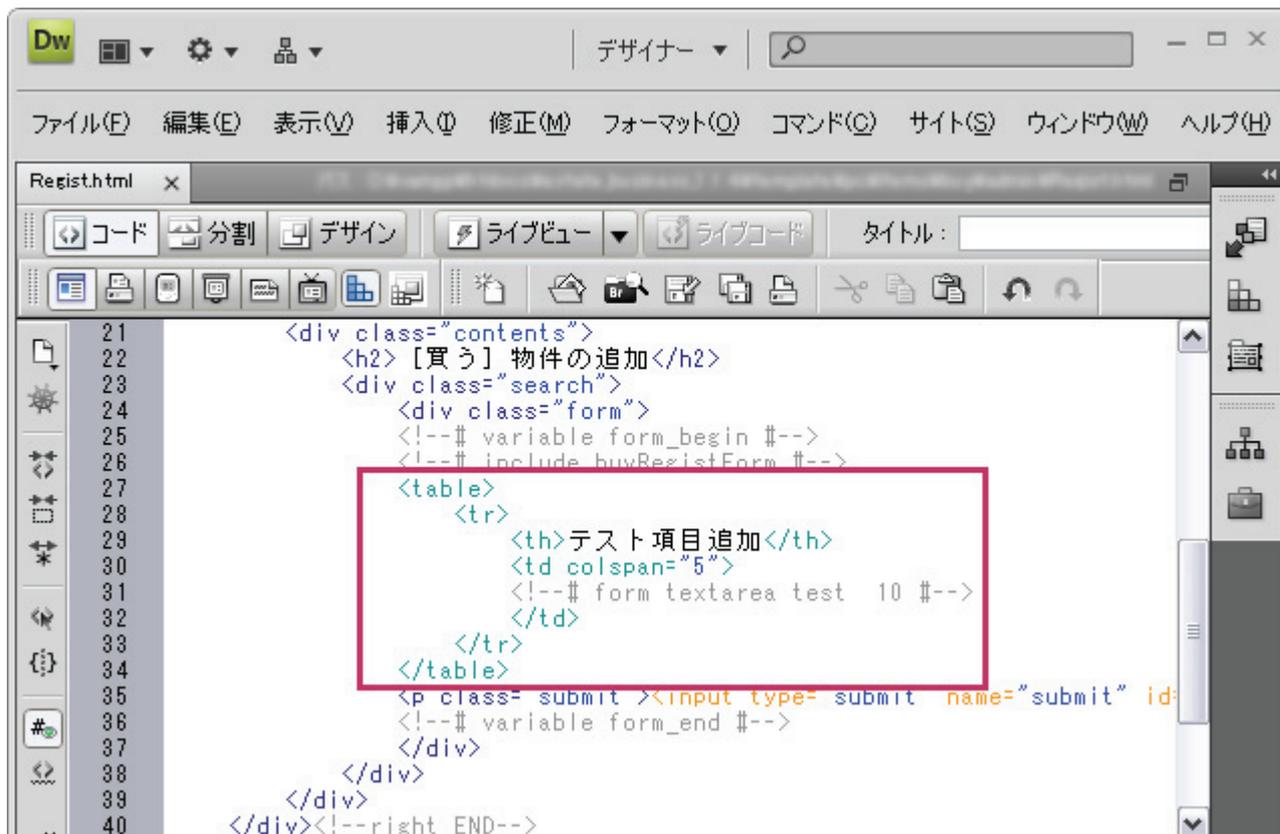
【物件種別:一戸建て】

価格	1000万円	間取り		接道	
築年月	20年月	敷地面積	100m ²	建物面積	0m ²
住所	滋賀県草津市西洪川1-1-18				
アクセス					
テスト項目追加	テスト項目が表示されます。				

※Info.html や List.html は、ログイン種別毎にありますので一つの Info.html だけ更新しないように注意してください。

※admin/Info.html のみ編集すれば、管理者だけにしか表示されないように表示することも可能です。

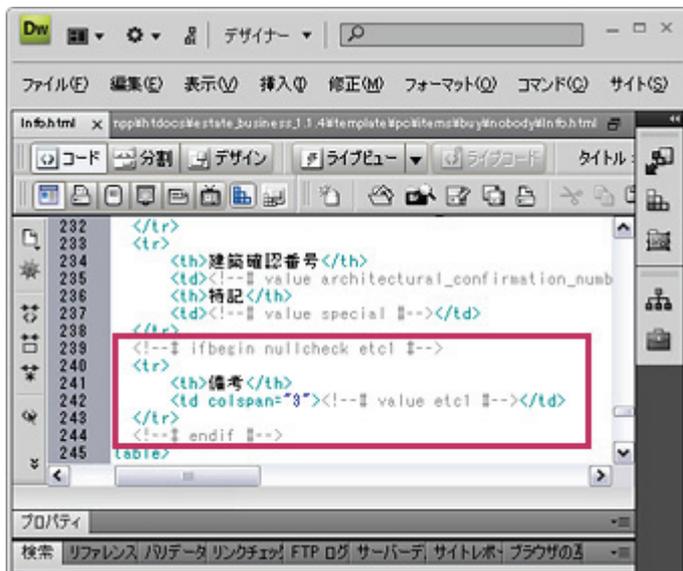
その場合、RegistForm.html は共通テンプレートになりますので、admin/Regist.html 等に入力フォームを記述してください。



0-6. 表示内容の制御

Info.html で未入力項目を表示させないようにすることが可能です。

[参照 : 4-7.if関数による条件分岐](#)



1 表示させない要素を

```
<!--# ifbegin nullcheck etc1 #-->
```

```
<!--# endif #-->
```

で囲みます。

```
<!--# ifbegin nullcheck etc1 #-->
```

```
<tr>
```

```
<th>備考</th>
```

```
<td colspan="3">
```

```
<!--# value etc1 #-->
```

```
</td>
```

```
</tr>
```

```
<!--# endif #-->
```

2 ifbegin で囲まれた項目が未入力の場合、表示されません。

■ Ifbegin で囲む前の状態

地目		都市計画	
用途地域		現況	
引き渡し時期		法令上の制限	
国土法による許可または事前届出		工事完了予定年月	
建築確認番号		特記	
備考			



■ Ifbegin で囲まれた項目が未入力の場合、備考欄が表示されません。

地目		都市計画	
用途地域		現況	
引き渡し時期		法令上の制限	
国土法による許可または事前届出		工事完了予定年月	
建築確認番号		特記	
備考			



■ Ifbegin で囲まれた項目が入力されると、備考欄が表示されます。

販売区画数	3	総区画数	8
地目	畑	都市計画	調整
用途地域	ビル用地	現況	田
引き渡し時期		法令上の制限	
国土法による許可または事前届出		工事完了予定年月	
建築確認番号		特記	
備考	学生専用		

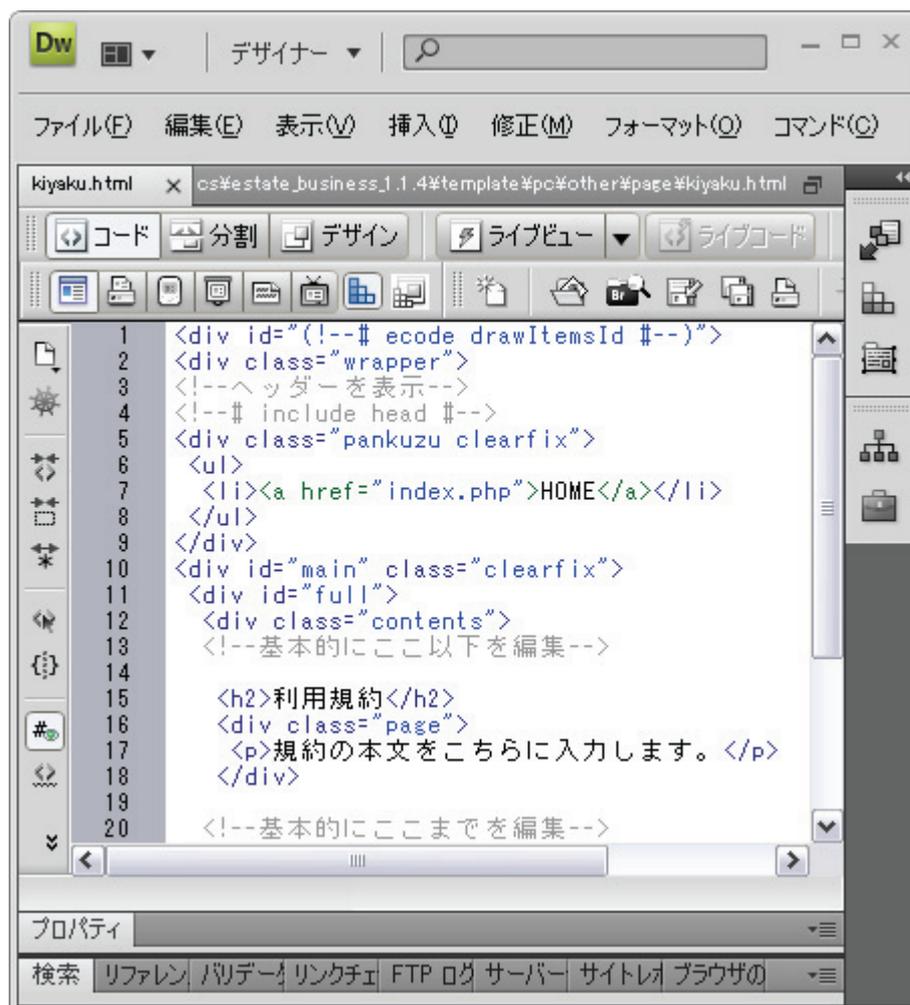
0-7. ページの追加

0-7-1. ログイン種別で共通のテンプレートを作成する場合

閲覧権限が与えられたユーザーのみに公開するテンプレートを作成します。

[参照：9.テンプレートの追加](#)

- 1 ./other/page に html ファイルを作成します。



- 2 /tdb/template/common.csv に上記で作成した html ファイルの権限やラベルを記述します。
 CSV のD列にてページの閲覧権限を設定します。
 ※編集後、tool.php より自動構築を行ってください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	0	Txxxx	//			15	3	ERROR_PAGE_Df	other/common/E	0
2	0	Txxxx	/admin/cUser/nUser/no			15	3	FOOT_DESIGN	other/common/F	0
3	0	Txxxx	/admin/cUser/nUser/no			15	3	HEAD_DESIGN	other/common/h	0
4	0	Txxxx	/cUser/nUser/nobody/			15	3	HEAD_DESIGN_A	other/common/h	0
5	0	Txxxx	//			15	3	REGIST_FALED_[other/common/F	0
6	0	Txxxx	/admin/cUser/nUser/no			6	3	SEARCH_PAGE_C	other/common/S	0
7	0	Txxxx	/nobody/			6	3	USERONLY_ITEM	items/UserOnlyIt	0
8	0	Txxxx	/nobody/nUser/kiyaku	/nobody/nUser/kiyaku		15	3	OTHER_PAGE_Df	other/page/kiyak	0
9										
10										



0-7-2. ログイン種別ごとに用意されたテンプレート

同じ URL で、ログイン種別ごとに異なるページを表示させます。http://設置先/info.php?type=△△△

■ nobody/info.html

不動産の賃貸・売買の物件登録・検索システム。このシステムで物件情報の検索・詳細表示まで不動産業者のWEBサイトに必要なシステムの構築が可能です。

HOME 借りる 買う

REAL ESTATE 06-6908-7697 定休日 毎週水曜日 会員登録 ログイン

HOME 会社概要 サイトのご利用方法 お問い合わせ お気に入り

HOME > 借りる > フローラルハウス(IR000011) >

フローラルハウス (IR000011)

お気に入りリストに追加 印刷画面を表示する 情報更新日:2011/02/20 情報有効期限:2011/08/22 掲載期限まであと72日

【物件種別:一戸建て】

賃料/管理費等	19万円/11,267円	敷金	6ヵ月	礼金	3,973,435円
間取り	1LDK	面積	54m ²	築年月	1987年5月
住所	栃木県下都賀郡野木町906-938フローラルハウス933				
アクセス	野岩鉄道会津鬼怒川線湯西川温泉駅 徒歩 29分 バス 18分 JR鳥山線鳥山駅 徒歩 21分 バス 5分 真岡鉄道茂木駅 徒歩 10分 バス 24分				



■ admin/info.html

不動産の賃貸・売買の物件登録・検索システム。このシステムで物件情報の検索・詳細表示まで不動産業者のWEBサイトに必要なシステムの構築が可能です。

REAL ESTATE 管理画面 06-6908-7697 受付時間: 定休日 毎週水曜日

トップページ ログアウト

管理画面HOME > 借りる > フローラルハウス(IR000011) >

+ 編集する + 削除する + 複製する

フローラルハウス (IR000011)

印刷用レイアウトで表示 情報更新日:2011/02/20 情報有効期限:2011/08/22 掲載期限まであと72日

【物件種別:一戸建て】

賃料/管理費等	19万円/11,267円	敷金	6ヵ月	礼金	3,973,435円
間取り	1LDK	面積	54m ²	築年月	1987年5月
住所	栃木県下都賀郡野木町906-938フローラルハウス933				
アクセス	野岩鉄道会津鬼怒川線湯西川温泉駅 徒歩 29分 バス 18分 JR鳥山線鳥山駅 徒歩 21分 バス 5分 真岡鉄道茂木駅 徒歩 10分 バス 24分				

図面有	最上層	遠望可	OSアンテナ	TVFアホン	画像有	礼金無	エアコン
BSアンテナ	楽器相談	駐車場有	敷金無	ロフト付	オートロック	事務所可	2階以上
バストイレ別	室内洗濯機置場	フローリング	ペット相談	1階限定	ガスコンロ	CATV	角部屋

テスト項目を追加

1.デザイン組み込みについて

当システムにデザインを組み込むにあたりまして、HTML・CSSの基礎知識が必要です。
ディレクトリ、デザイン構成など、パッケージにより一部異なる場合がございます。
テンプレートファイルに記述されていますコマンドコメントの扱いには、十分ご注意ください。

不動産の賃貸・売買の物件登録・検索システム。このシステムで物件情報の検索・詳細表示まで不動産業者のWEBサイトに必要なシステムの構築が可能です。

HOME 借りる 買う

REAL ESTATE

06-6908-7697 定休日 毎週水曜日 会員登録 ログイン

HOME 会社概要 サイトのご利用方法 お問い合わせ お気に入り

Real Estate System

地域から探す

- 岩手県(1)
- 茨城県(1)
- 長野県(1)
- 滋賀県(1)
- 大阪府(1)
- 奈良県(1)
- 鳥取県(1)
- 島根県(1)
- 香川県(1)

こだわり条件から探す

- 図面有(5)
- 最上階(2)
- 追焚ぎ(3)
- CSアンテナ(4)
- TVドアホン(2)
- 画像有(1)
- 礼金無(2)
- エアコン(2)
- BSアンテナ(3)
- 楽器相談(4)
- 駐車場有(4)

一戸建て → マンション → 土地 → 事業用 →

カンタン物件検索

フリーワード

物件種別 一戸建て マンション 土地 事業用

物件所在地 未選択 未選択

沿線・最寄り駅 未選択 未選択
※都道府県を選択すると沿線が表示されます

駅まで 指定無し 1分以内 3分以内 5分以内 10分以内 15分以内

オススメ オススメ物件のみ表示

この条件で検索する

オススメの物件情報

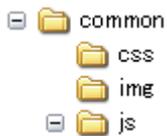
RECOMMENDED

 <p>フローラルドミトリエ JR東北本線(宇都宮線)古河駅 徒歩17分 バス26分 30万円 1DK</p> <p>土地 詳細を見る</p>	 <p>カレッジハウス JR奈良線平城山駅 徒歩6分 バス24分 13万円 1DK</p> <p>土地 詳細を見る</p>	 <p>クラシックハイツ いわて銀河鉄道斗米駅 徒歩8分 バス2分 4万円 3DK</p> <p>事業用 詳細を見る</p>	 <p>クラシックハイツ JR子国線香西駅 徒歩24分 バス30分 11万円 1K</p> <p>事業用 詳細を見る</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2.ディレクトリ[階層構造]

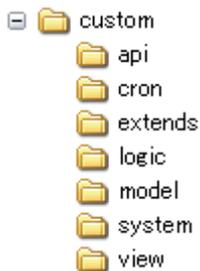
2-1.ディレクトリ

各パッケージによってディレクトリは異なりますが、基本的には共通するディレクトリになっています。



■ ./common/

CSS、JAVASCRIPT、イメージファイルなど HTML から読み込む外部ファイルが格納されています。



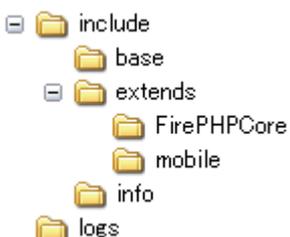
■ ./custom/

パッケージ関連の設定ファイル等が格納されています。



■ ./file/

WEB 上からアップロードされたファイルや、追加で生成されたページ等が格納されます。



■ ./include/

システム関連のファイルが格納されています。



logs

■ `./logs/`

ログが保存されるフォルダです。



lst

module

system

user

■ `./lst/`

システム専用のテーブル定義ファイルが格納されています。

※テーブル…情報を記憶する単位(商品、ユーザーなど)



module

column

command

template

■ `./module/`

モジュール。追加機能関連ファイルが格納されています。



tdb

module

system

template

user

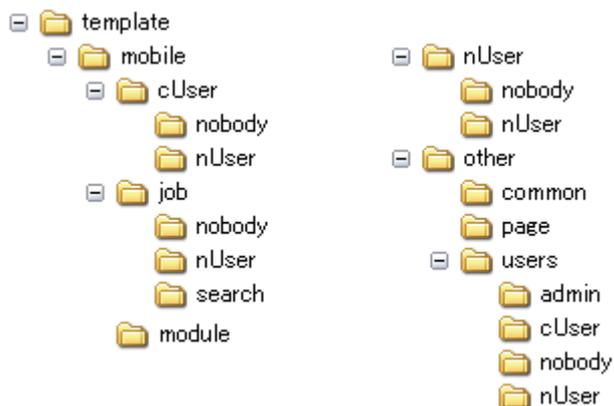
■ `./tdb/`

初期データが格納されています。

■ パソコン



■ モバイル



■ [./template/](#)

HTML ファイルが格納されています。(PC 版・MOBILE 版)

デザインテンプレートは、パソコン用と携帯用と別ファイルになっていますので、携帯用をご利用の場合は、携帯用のデザインを別で組み込んでください。

2-2.ファイル名

パッケージで共通するファイル名の形式です。ご参考ください。

- **Regist---**.html . . . 登録関連ファイル
- **Edit---**.html . . . 編集関連ファイル
- **Delete---**.html . . . 関連ファイル
- **---Comp.html** . . . インフォメーション・検索結果
- **---Faled.html** . . . エラーメッセージ
- **SearchResultFormat.html** . . . 検索結果を表示するフォーマット
- **SearchPageChange.html** . . . ページャー
- **List---**.html . . . 検索結果一覧
- **Info---**.html . . . 情報の詳細
- **---Form.html** . . . フォームの項目
- **---Check.html** . . . 入力項目の確認ページ
- **DeleteCheck.html** . . . 削除の確認ページ
- **EditCheck.html** . . . 編集項目の確認ページ

3. デフォルトのデザイン構成

3-1. HTML 基本構成

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=shift_jis" />
  <meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
  <meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
  <meta name="description" content="(!--# syscode drawDescription #--)" />
  <meta name="keywords" content="(!--# syscode drawKeywords #--)" />
  <!--# mod feed feed_load #--> 3-2.
  <!--# syscode css_load #-->
  <!--# syscode link_load #--> 3-3.
  <!--# syscode js_load #-->
  <title><!--# syscode drawTitle #--></title> 3-4.
</head>

```

3-1-1. 指定する言語

■ DOCTYPE 宣言

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
```

■ XML 名前空間と言語コード

```
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
```

■ 文字コードの指定

システムのコードが SHIFT_JIS なので、UTF-8 を指定すると不具合が生じる可能性があります。

```
<meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=shift_jis" />
```

■ スタイルシート言語の指定

```
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
```

■ スクリプト言語の指定

```
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
```

3-1-2. キーワードの設定 (METAタグ)

管理画面の『システムの設定』より検索キーワードの設定ができます。

HTML <meta name="keywords" content="(!--# syscode drawKeywords #--)" />

[【参照】 10-2. システムの設定](#)

3-1-3. サイトの説明・紹介文の設定 (METAタグ)

管理画面の『システムの設定』よりサイトの説明・紹介文の設定ができます。

HTML <meta name="description" content="(!--# syscode drawDescription #--)" />

[【参照】 10-2. システムの設定](#)

3-2.RSSフィードへのリンク

RSS フィードに対応しています。

こちらの機能は、./module/feed.inc にて設定可能です。

COMAND COMENT <!--# mod feed feed_load #-->

3-3.外部ファイル

スタイルシート、link タグ、スクリプトは、外部ファイルです。HTML ファイル内から呼び出します。

3-3-1. スタイルシート

- ① スタイルシートを記述した CSS ファイルを HTML ファイルとは別に作成して、./common/css/以下に保存します。
- ② HTML に呼び出す CSS ファイルを./custom/conf.php に記述します。
- ③ コマンドコメントで外部 CSS ファイルを出力します。

DIRECTORY ./common/css/style.css

COMMAND COMENT <!--# syscode css_load #-->

HTML <link rel="stylesheet" type="text/css" href="./common/css/style.css" media="all" />

3-3-2. 汎用linkタグ

- ① ./custom/conf.php に<link>要素の属性を記述します。
- ② コメントで link タグを出力します。

DIRECTORY ./common/js/jquery.js

COMMAND COMMENT <!--# syscode js_load #-->

HTML <script type="text/javascript" src="./common/js/jquery.js"></script>

3-3-3. スクリプト

- ① スクリプトを記述した JS ファイルを HTML ファイルとは別に作成して、./common/js/以下に保存します。
- ② HTML に呼び出す JS ファイルを./custom/conf.php に記述します。
- ③ コメントで外部 JS ファイルを出力します。

DIRECTORY ./common/js/jquery.js

COMMAND COMMENT <!--# syscode js_load #-->

HTML <script type="text/javascript" src="./common/js/jquery.js"></script>

3-4. サイトタイトル

管理画面の『システムの設定』よりサイトタイトルが指定できます。

HTML <title><!--# syscode drawTitle #--></title>

4.コマンドコメントについて

コマンドコメントとはユーザー情報や物件情報などデータベースに登録された情報等を表示するためのコメントとなります。間違った編集記述をされると、システムや表示に不具合が生じますので、コマンドコメントの扱いには十分にご注意ください。

また、ページによって持っているデータが異なりますので、テンプレートに記述されているコマンドコメントを関連性のない別のテンプレにコピーしても動作するとは限りません。

4-1.処理先一覧

コマンドコメントの処理内容は複数のファイルに分割して記述されています。

あるコマンドコメントの処理がどこに記述されているかは、コマンドコメントの先頭のワードから知ることができます。

COMMAND COMENT

<!--# code [name] ... #-->

↳ include/Command.php 内の [name] メソッド

COMMAND COMENT

<!--# ecode [name] ... #-->

↳ custom/extension.php 内の [name] メソッド

COMMAND COMENT

<!--# syscode [name] ... #-->

↳ custom/system/System.php 及び派生 System クラスの [name] メソッド

COMMAND COMENT

<!--# mod [class] [name] ... #-->

↳ module/以下にある [class] モジュールの [name] メソッド

COMMAND COMENT

<上記に該当しないもの>

↳ include/ccProc.php

4-2.基本デザインの切り離し

各ページに下記のコマンドコメントを設置すると、ユーザーごとの基本デザインが表示される。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
<head>
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=7" />
<meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=shift_jis" />
<title><!--# syscode drawTitle #--></title>
<meta name="robots" content="ALL" />
<meta name="description" content="(<!--# syscode drawDescription #-->)" />
<meta name="keywords" content="(<!--# syscode drawKeywords #-->)" />
<!--# syscode link_load #-->
<!--# syscode css_load #-->
<!--# syscode js_load #-->
</head>
<body>

<div id="wrapper">
<div id="container">
<div id="header">ヘッダー</div><!--header-->
<div id="main_menu">グローバルメニュー</div><!--main_menu-->

<div id="contents">
<div class="index">
<div class="contents_m">メインコンテンツ</div><!--contents_m-->

<div class="contents_s">サイドコンテンツ</div><!--contents_s-->

</div><!--index-->
</div><!--contents-->

<div id="footer">フッター</div><!--footer-->

</div><!--container-->
</div><!--wrapper-->

</body>
</html>

```

- 1 サイト共通 template/pc/other/common/Head.html が読み込まれます。
- 2 <!--# include head #-->
↳ヘッダーを表示します。template/pc/other/user/各ユーザーフォルダに格納 Head.html
- 3 <!--# include side_bar #-->
↳サイドを表示します。template/pc/other/user/各ユーザーフォルダに格納 Side_bar.html
- 4 <!--# include foot #-->
↳フッターを表示します。template/pc/other/user/各ユーザーフォルダに格納 Foot.html
- 5 サイト共通 template/pc/other/common/Foot.html が読み込まれます。

4-3.ブロックデザインの切り離し

ブロックの共通するデザインは、繰り返される要素と切り離してデザインを組み込みます。主に、検索結果の一覧ページで複数の件数を表示させるページで使用しています。

```

<!--# readhead head #-->
<div class="contents_box3">
  <h2 class="title_new"><span>新着商品</span></h2>
  <ul class="top_items clearfix">
<!--# readend #-->

```

1

```

<!--# readhead label #-->
  <li>新着商品一覧</li>
<!--# readend #-->

```

2

```

<!--# readhead foot #-->
  </ul>
</div><!--contents_box3-->
<!--# readend #-->

```

3

- 1 <!--# readhead head #--><!--# readend #-->
↳ブロックのヘッダー部分
- 2 <!--# readhead label #--><!--# readend #-->
↳繰り返される要素部分。一覧で表示されるデザインを記述します。
- 3 <!--# readhead foot #--><!--# readend #-->
↳ブロックのフッター部分

COMMAND COMENT

```

<!--# mod ItemsView drawNewList #-->
↳コマンドコメントを記述すると、新着の商品一覧が表示されます。

```

4-4.ページの読み込み

```

<!--# syscode searchResult setResultNum 20 #--> ①

<!--# syscode searchResult setPageJumpNum 5 #--> ②

<!--# include head #--> ③

<div id="contents" class="clearfix">
  <div class="search">
    <div class="contents_l">

      <!--# include nUserSearchForm #--> ④

      <!--# syscode searchResult pageChange #--> ⑤

      <div id="list_table">
        <table>
          <tr>
            <th>ID</th>
            <th>アカウント</th>
            <th>氏名</th>
            <th>メールアドレス</th>
            <th>電話番号</th>
            <th>注文数</th>
            <th>ログイン</th>
            <th>編集</th>
            <th>削除</th>
            <th>詳細</th>
          </tr>

          <!--# syscode searchResult result #--> ⑥

        </table>
      </div><!--list_table-->

      <!--# syscode searchResult pageChange #-->

    </div><!--contents_l-->
  </div><!--search-->
</div><!--contents-->

<!--# include foot #--> ⑦

```

- ① コマンドコメントの『20』を変更すると、1ページに表示する件数を指定することができます。
- ② コマンドコメントの『5』を変更すると、表示するジャンプ先ページ数を指定することができます。
- ③ 各ユーザーのヘッダーを読み込みます。
 ↳template/pc/other/user/各ユーザーフォルダに格納 Head.html

- 4 検索フォームを表示します。
↳template/pc/各データフォルダに格納/各ユーザーフォルダに格納 SearchForm.html
- 5 件数とページを表示します。
↳template/pc/other/common/SearchPageChange.html
- 6 検索結果一覧を表示します。
↳template/pc/other/common/SearchPageChange.html
- 7 各ユーザーのフッターを表示します。
↳template/pc/各データフォルダに格納/各ユーザーフォルダに格納 List.html

4-5.フォーム

COMMAND COMENT ■テキストフィールド <!--# form text tel 80 128 #-->

name="tel" → ./lst/user/nuser.csv の A 列です。

80 128→文字幅/最大文字数

【HTML】 <input type="text" name="tel" value="" size="80" maxlength="128" />

<文字幅を指定しない場合>

<!--# form text name 128 #-->

文字幅を指定しない場合は半角スペース 2

【HTML】 <input type="text" name="name" value="" size="" maxlength="128" />

COMMAND COMENT ■パスワード入力フォーム <!--# form password pass 30 50 #-->

【HTML】 <input type="password" name="pass" size="30" maxlength="50" >

COMMAND COMENT ■テキストエリア <!--# form textarea salary_label 80 5 #-->

【HTML】 <textarea name="salary_label" cols="80" rows="5" ></textarea>

COMMAND COMMENT ■ **セレクトボックス** <!--# form option light /東/西/南/北 未選択/東/西/南/北 #-->

【HTML】

```
<select name="light" >
  <option value="" selected="selected" >未選択</option>
  <option value="東">東</option>
  <option value="西">西</option>
  <option value="南">南</option>
  <option value="北">北</option>
</select>
```

COMMAND COMMENT ■ **ラジオボタン** <!--# form radio sex 男性 男性/女性 男性/女性 #-->

<!--# form radio sex 男性 男性/女性 男性/女性 #-->



【HTML】

```
<label><input type="radio" name="sex" value="男性" checked="true" />男性</label>
<label><input type="radio" name="sex" value="女性" />女性</label>
```

COMMAND COMMENT ■ **チェックボックス** <!--# form checkbox job_activate regist/edit 登録時/編集時 #-->

【HTML】

```
<label><input type="checkbox" name="job_activate[]" value="regist" />登録時</label>
<label><input type="checkbox" name="job_activate[]" value="edit" />編集時</label>
<input type="hidden" name="job_activate_CHECKBOX" value="" />
```

COMMAND COMMENT ■ **ファイルフィールド** <!--# form image image 360 270 #-->

【HTML】

```
<label><input type="checkbox" name="job_activate[]" value="regist" />登録時</label>
<label><input type="checkbox" name="job_activate[]" value="edit" />編集時</label>
<input type="hidden" name="job_activate_CHECKBOX" value="" />
```

COMMAND COMMENT ■ **日付書式** <!--# setTimeFormat Y/m/d #--><!--# value edit #-->

日付表示のコマンドコメント<!--# value edit #-->より手前に配置
2011/04/20 と表示される

[パラメーター一覧]

<http://php.net/manual/ja/function.date.php>

COMMAND COMMENT ■ **リンク** <!--# ecode getName (!--# value send_id #--) true #-->

【HTML】

```
<a href="info.php?type=cUser&id=C0000030">○○○会社</a>
```

『true』を『false』に変更すると、リンクが解除されます。

```
<!--# ecode getName (!--# value send_id #--) false #-->
```

COMMAND COMMENT ■ **フォームタグ** <!--# variable form_begin #--><!--# variable form_end #-->

【HTML】

```
<!--# variable form_begin #--> →<form>
```

```
<!--# variable form_end #--> →</form>
```

4-6. エラーメッセージ

○○Failed.html に記述されたエラーメッセージが表示されます。

■ フォーム上部

【HTML】 エラーメッセージの出力 `<!--# syscode validate is_error #-->`

■ フォーム内

【HTML】 エラーメッセージの出力 `<!--# syscode validate name #-->`

■ TD 要素内

【HTML】 クラス名の出力 `(!--# syscode is_validate name #--)`

表示される class `<td class=" validate">` css にてデザインを指定できます。

4-7. if関数による条件分岐

条件によってテンプレート内の表示する部分を切り替える関数

```
<!--# ifbegin = activate 4 #-->
  <!--# value apply_time #-->
  <!--# else #--> . . . 条件が満たされない場合の処理
<!--# endif #-->
```

5.検索のパラメータについて

5-1. search.phpを利用した検索

検索結果は URL リンクも可能なため、条件は全てパラメータとして渡されます。

その条件の設定方法について説明します。

検索条件を追加する場合、検索を行なうフォームのテンプレート(一般的には Search.html)に以下のようなパラメータを追加します。

```
<!--# form text name #-->
<input name=""name_PAL[]" type=""hidden"" value=""match like"" />
```

これで name カラムで検索する edit ボックスが表示されます。

もし入力を行なう edit ボックスのみを出力させた場合、検索の段階でパラメータが足りずエラーとなります。

また、この検索パラメータは以下のように設定することで検索のマッチング条件を変える事が可能です。

```
<input name=""name_PAL[]" type=""hidden"" value=""match comp"" />
→入力内容とカラムの内容が完全に一致する場合。

<input name=""name_PAL[]" type=""hidden"" value=""match keyword"" />
→入力内容をスペースで区切って、それぞれがカラムに含まれるかどうかを検索する。
→-を先頭に付けた文字列は除外対象になる。

<input name=""name_PAL[]" type=""hidden"" value=""group keyword name text example"" />
→入力内容を name text example の3つのカラムを使ってキーワード検索。
```

また、edit ボックスのような単一のパラメータを渡さない、checkbox 等でしか使えないパラメータも存在します。

例えば基本システムの nUser の性別を検索する項目ですと、

```
<!--# form checkbox sex 男/女 男/女 男/女 #-->
<input name=""sex_PAL[]" type=""hidden"" value=""match or"" />
```

このように複数の項目が値として渡される検索項目の場合、配列を値として受けとりますが、可能な一部の検索条件しか利用できません。具体的には、[match or]や[match and]があります。

その他のパラメータについては、[リファレンス](#)を参照してください。

5-2.検索に関するリファレンス

5-2-1. alias

alias は別のテーブルの項目を使って検索するための機能です。

例えば基本システムのジョブの企業名による検索を見てみましょう。

job 自体は親となる企業の名前を持ちません。comp カラムに cUser テーブルの主キーである ID を持ち、そこから親の情報を表示する事はできますが、普通に検索項目として使った場合、id による検索しかできません。

これを名前やメールアドレスで検索するために alias を利用します。

```
<!--# form text comp #-->
<input name=""comp_PAL[]" type=""hidden"" value=""alias like cUser id name comp"" />
```

cUser の name と mail の 2 項目で検索したい場合・・・

```
<!--# form text comp #-->
<!--# form text cuser_mail #-->
<input name=""comp_PAL[]" type=""hidden"" value=""alias like cUser id name comp mail cuser_mail comp""
/>
```

5-2-2. gorup keyword

任意数のカラムを使ったキーワード検索が可能です。キーワード検索における検索語のルールは match keyword に準拠します。任意数の検索に利用したいカラム名です。

```
<input name=""name_PAL[]" type=""hidden"" id=""name_PAL[]" value=""group keyword name text
example"" />
```

これによって、name という名前の text ボックスに入力された文字列を使って name,text,example の 3 カラムをキーワード検索した結果が反映されます。

5-2-3. match and

配列による AND 検索を行ないます。指定されたカラムが渡された配列全てを含んでいれば結果としてヒットします。これは検索条件を checkbox 等で指定する場合に有効です。

5-2-4. match or

配列による OR 検索を行いません。

指定されたカラムが渡された配列のどれかを含んでいれば結果としてヒットします。

これは検索条件を checkbox 等で指定する場合に有効です。

5-2-5. match between

A~B の範囲に指定したカラムが含まれる場合にマッチします。これは、範囲に指定する項目に範囲を持たせる場合に有効です。

また、下限無しや上限無しのように片方に検索をしない指定をすることができます。

その場合、下限無しは"`bottom`"、上限無しは"`top`"を指定します。`bottom~top` が範囲指定された場合、検索は行なわれません。

▼年代を指定する場合の例・・・

20 代前半 : `to*20*24`

20 代後半 : `to*25*29`

30 代前半 : `to*30*34` と指定します。

20 代前半~20 代後半で検索された場合、実際には 20~29 で検索されます。

20 代後半~30 代前半で検索された場合、実際には 25~34 で検索されます。

また下限・上限を無しとする記法を使い

20 歳未満 : `to*bottom*19`

70 歳以上 : `to*70*top` と指定します。

20 歳未満~70 歳以上が選択された場合、`bottom~top` が検索範囲に選択される為、条件として検索されません。

20 歳未満~20 歳未満で検索を行なった場合、`bottom~19` の範囲で検索されるため、「`age < 19`」といった検索になります。

5-2-6. match keyword

キーワードによる検索を行いません。

引数として渡された文字列について、スペースで区切られたそれぞれの文字列が指定のカラムに含まれる場合にヒットします。

また-(マイナス)が先頭に付与されている文字列が含まれる項目は検索結果から除去します。

5-2-7. match like

引数として渡された文字列が指定されたカラムに含まれる場合にヒットします。

文字列入力によるキーワード検索等で使われます。

5-2-8. match comp

引数とカラムが完全に一致する場合のみヒットします。

文字列入力による検索は当然ながら、正規化された項目による検索の場合にも利用します。

6.外部ファイルの追加・削除

custom/conf.php より外部ファイルの追加・削除ができます。

6-1.スタイルシートの追加・削除

CSS のリンクを追加・削除することができます。

対象ユーザーの種類は、['all']['cUser']['nUser']['admin']

['style']は、分類用の名前です。他と重複しなければ、管理しやすい名前にしておく便利です。

【例】

```
$css_file_paths['all']['style'] = './common/css/style.css';
```

【コマンドコメント】

```
<!--# syscode css_load #-->
```

6-2. linkタグの追加・削除

link タグ出力用の汎用コードになります。

【例】

```
$css_file_paths['all']['style'] = './common/css/style.css';
```

【コマンドコメント】

```
<!--# syscode css_load #-->
```

6-3.スクリプトの追加・削除

スクリプトを追加・削除することができます。

対象ユーザーの種類は、['all']['cUser']['nUser']['admin']

['jquery']は、分類用の名前です。他と重複しなければ、管理しやすい名前にしておく便利です。

【例】

```
$js_file_paths['all']['jquery'] = './common/js/jquery.js';
```

【コマンドコメント】

```
<!--# syscode js_load #-->
```

7. 必須項目・入力制限の設定

必須項目・入力制限を設定すると、入力フォームにエラーメッセージを表示することができます。必須項目の入力に誤りがない限り次の画面へは進めません。

./lst 以下にあるテーブルごとに用意された CSV ファイルより必須項目の設定・解除を行います。

	A	B	C	D	E	F
1	id	char	8			
2	name	varchar	128	Null	Null	
3	mail	varchar	128	Null/Mail/MailDup	Null/Mail/MailDup	
4	tel	varchar	64			/^[¥d]+\$ /
5	zip1	varchar	3			/^[¥d]+\$ /
6	zip2	varchar	4			/^[¥d]+\$ /
7	address	varchar	255			

7-1. 必須項目の設定

1 D列・・・登録フォームでの状態

2 E列・・・編集フォームでの状態

Null を記述すると必須項目になります。

また、必須項目を解除する場合は、Null を削除します。

Null 以下が/で表示されてる項目は、Null/を削除します。

【例】必須項目を解除する場合 → Null/Mail/MailDup→Mail/MailDup となります。

7-2. 入力制限の変更

3 ./lst/以下の csv ファイルの F 列に正規表現を記述することで入力文字を制限できます。

【例】半角数字のみ受け付ける場合 → /^[¥d]+\$ /

※正規表現の記述方法に関してはサポート範囲外となりますのでご了承ください。

8.エラーメッセージ

8-1.テンプレート

必須や入力制限された項目にエラーメッセージを表示することができます。

【RegistFaled.html】

```
<!--# readhead head #-->共通デザイン<!--# readend #-->
<!--# readhead is_error #-->フォームの上部に表示されるメッセージ<!--# readend #-->
<!--# readhead ラベル #-->項目ごとのエラーメッセージ<!--# readend #-->
<!--# readhead foot #-->共通デザイン<!--# readend #-->
```

8-2.エラーメッセージの表示

テーブルごとに用意された RegistFaled.html のエラーメッセージは、RegistForm.html に記述されているコマンドコメントから読み込まれます。

■ フォーム上部

【HTML】 エラーメッセージの出力 <!--# syscode validate is_error #-->

【例】

```
<div class="error">
<p>入力内容に誤りがあります。</p>
</div>
```

■ フォーム内

【HTML】 エラーメッセージの出力 <!--# syscode validate name #-->

【例】

```
<p>お名前が入力されていません。</p>
```

■ TD 要素内

【HTML】 クラス名の出力 (!--# syscode is_validate name #--)

【例】

```
<td class=" validate">
```

※css にてデザインを指定できます。

8-3. エラーメッセージの追加・削除

8-3-1. エラーメッセージの追加

	A	B	C	D	E	F
1	id	char	8			
2	name	varchar	128	Null	Null	
3	mail	varchar	128	Null/Mail/MailDup	Null/Mail/MailDup	
4	tel	varchar	64			/^[¥d]+\$ /
5	zip1	varchar	3			/^[¥d]+\$ /
6	zip2	varchar	4			/^[¥d]+\$ /
7	address	varchar	255			

- 1 ./lst/以下あるテーブル定義 CSV ファイルを開き、対象の項目の A 列に記述されているラベルを Registed.html の<!--# readhead ラベル #-->に記述します。
※この時、D列、E列にはNullが記述されているのが前提です。

[【参照】 7. 必須項目・入力制限の設定](#)

```

<!--# readhead head #-->
<div class="error">
<!--# readend #-->

<!--# readhead is_error #-->
入力内容に誤りがあります。<br />
<!--# readend #-->

<!--# readhead ラベル #-->
追加するメッセージ<br />
<!--# readend #-->

<!--# readhead foot #-->
</div>
<!--# readend #-->

```

- 2 Registed.html の<!--# readhead ラベル #--><!--# readend #-->内に追加したメッセージを記述します。

【例】

CSV ファイルの A 列が name の場合 → <!--# readhead name #-->
 <!--# readhead name #-->名前を入力してください<!--# readend #-->

```
<table>
<caption>ユーザー</caption>
<tr>
<th>氏名 <span class="att">[必須]</span></th>
<td class="ta_left (
```

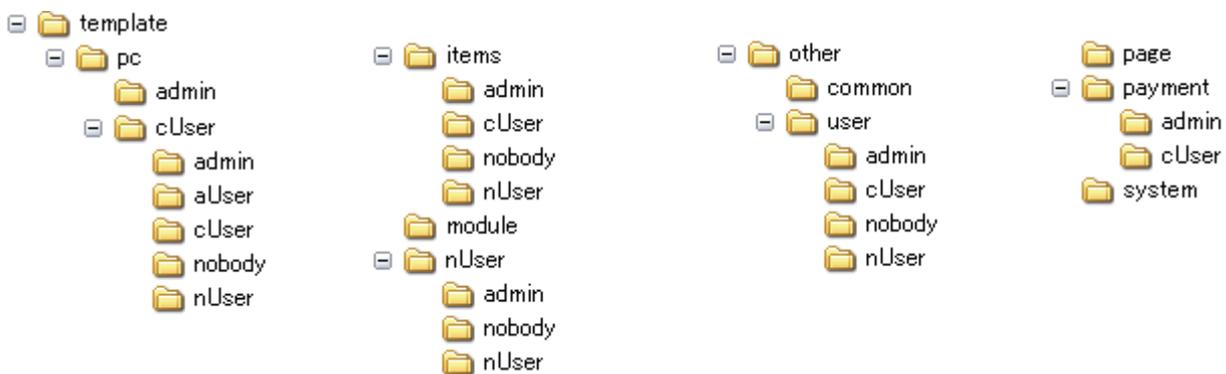
9. テーブルにテンプレートを追加

テンプレートファイルは自由に追加することができます。

但し、ページによって、持っているデータが異なりますので、テンプレートに記述されているコマンドコメントを関連性のない別のテンプレにコピペしても動作するとは限りません。

9-1. htmlファイルを作成

html ファイル作成し、./template/pc 以下に保存します。



- └ admin・・・管理者用テンプレート
→管理者アカウントの設定（パスワードの設定）
- └ cUser・・・企業・クライアント情報に関するテンプレート
- └ items・・・項目、品目、商品情報に関するテンプレート
- └ module・・・追加モジュール用テンプレート
- └ nUser・・・ユーザー情報に関するテンプレート
- └ other・・・共通テンプレート（Head.html/Foot.html など）
 - └ common・・・サイト全体の共通テンプレート
 - └ user・・・ユーザー別の共通テンプレート

9-2.テンプレートの追加

./tdb/template 以下の CSV ファイルに追加したページを記述します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	DELETE_CHECK_PAGE	nUser/admin/De	0	0
2	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	DELETE_COMP_PAGE	nUser/admin/De	0	0
3	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	EDIT_FORM_PAGE_D	nUser/admin/Ed	0	0
4	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	EDIT_CHECK_PAGE	nUser/admin/Ed	0	0
5	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	EDIT_COMP_PAGE_D	nUser/admin/Ed	0	0
6	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	INFO_PAGE_DESIGN	nUser/admin/In	0	0
7	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	SEARCH_LIST_PAGE	nUser/admin/Li	0	0
8	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	SEARCH_NOT_FOUR	nUser/admin/Se	0	0
9	0	Txxxx	/admin/	nUserSear	4	3	INCLUDE_DESIGN	nUser/admin/Se	0	0
10	0	Txxxx	/admin/	nUser	4	3	SEARCH_RESULT_D	nUser/admin/Se	0	0
11	0	Txxxx	/admin/nU	nUserChec	15	3	INCLUDE_DESIGN	nUser/CheckFo	0	0
12	0	Txxxx	/nobody/	nUser	15	3	REGIST_FORM_PAGE	nUser/nobody/F	0	0
13	0	Txxxx	/nobody/	nUser	15	3	REGIST_CHECK_PAC	nUser/nobody/F	0	0
14	0	Txxxx	/nobody/	nUser	15	3	REGIST_COMP_PAG	nUser/nobody/F	0	0

- 1 A列・B列・C列は、上部と同様の形式で記述してください。
- 2 CSVファイルのD列に権限を入力します。
 ↳/nobody/・・・未ログインユーザー
 ↳/admin/nUser/nobody/・・・3ユーザー
- 3 CSVファイルのE列には、テーブルタイプを記述します。
 ○○には、テーブルタイプが入ります。(上記の場合:nUser)
 テーブルタイプが○○SearchForm や○○RegistForm の場合、
 インクルード(他のテンプレート内に読み込む)ためのテンプレートになります。

【例】 テーブル名が nUser の場合

./template/pc/nUser/以下のユーザーフォルダに Regist.html が用意されています。
 そのテンプレート内に <!--# include nUserRegistForm #-->と記述することによって、
 CSVファイルで指定したテーブルタイプが『RegistForm.html』のテンプレートファイルが読み込まれます。

- 4 F列は、管理者認証されたユーザーの数字を表します。

- 5 G列は、オーナーの数字を表します。持ち主とそれ以外の人とでアイテムの表示を切り分ける場合に用います。
- 6 H列は、インクルード用テンプレートにおけるラベルを表します。
- 7 I列は、テンプレートのディレクトリを記述します。
- 8 J列は、特に使用しませんが、空白にすると、正常に挙動しない場合がありますので、全て『0』と記入してください。

9-3. テーブルのインポート

システムを設置した後に、テンプレートを追加された場合は、http://設置先/tool.php より add template の「自動構築」が必要です。

DBMS : SQLiteDatabase
Database : download

テーブル名	インポート (CSVからDBへ)	エクスポート (DBからCSVへ)	再編成	バックアップ	復元	DBとCSVを比較	TDBをダウンロード
admin	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2010/9/24 17:57:36	比較	ダウンロード
nUser	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2011/2/18 17:44:35	比較	ダウンロード
items	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2011/2/18 17:44:45	比較	ダウンロード
orders	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2011/2/18 17:55:28	比較	ダウンロード
template	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2011/2/18 17:55:31	比較	ダウンロード
system	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2010/9/27 14:17:20	比較	ダウンロード
page	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2010/9/24 17:57:36	比較	ダウンロード
category	インポート	エクスポート	再編成	バックアップ	2011/1/24 15:39:34	比較	ダウンロード

add template [一括](#) [自動構築](#)

template [user](#) [system](#) [nuser](#) [admin](#) [items](#) [include](#) [category](#) [common](#) [orders](#)

module [page](#)

table data table [インポート](#) [エクスポート](#) [自動生成](#)

トップ	TDBインポート	完全インポート	一括エクスポート	一括バックアップ	テンプレートの一括インポート	
一括復元	一括再編成	一括ダウンロード	デザインテンプレートの確認	パスワード変更	phpinfoを表示	不要ファイルの削除

完了

10. サイト運営の準備

10-1. パッケージの設置

デザインを組み込み後、サーバーにシステムを設置します。

設置につきましては、各パッケージの設置マニュアルをご参考ください。

【システムマニュアル】 <http://www.wsmanual.net/>

10-2. システムの設定

設置が完了しましたら、管理者画面にログインします。

システム設定をクリックします。設定フォームが表示されますので各設定を行ってください。

システムの設定	
サイトのURL 【必須】	<input type="text" value="http://www.fudousanpro.com/demo/standard_full/"/> 10-2-1. ※各種リンク表記時に利用されますので/で終わる形で入力してください。
サイトタイトル 【必須】	<input type="text" value="不動産物件検索システムビジネスプロ"/> 10-2-2.
サイト概要 【必須】	<input type="text" value="主に近畿・東海エリアの不動産物件をご紹介するロータスカンパコ"/> 10-2-3.
サイトキーワード 【必須】	<input type="text" value="田舎暮らし, 物件, 不動産, 別荘, 賃貸, 売買, 中古, 土地, 仲介, 別荘"/> 10-2-4.
サイトロゴ[総合] 【必須】	 <input type="text" value=""/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="checkbox"/> 削除

10-2-1. サイトのURL

運営するサイトの URL を入力します。

【例】

<http://www.hogsystem.com/>

10-2-2. サイトのタイトル

サイトのタイトルが<title>タグに表示されます。

【【例】】

```
<title>Download System ダウンロードシステム</title>
```

10-2-3. サイトの説明（概要）

サイトの説明・紹介文を設定します。テンプレートには、META 要素で表示されます。

【【例】】

```
<meta name="description" content="サイトの説明・内容紹介文" />
```

10-2-4. サイトのキーワード

サイトの検索キーワードを設定します。テンプレートには、META 要素で表示されます。
キーワードを複数指定する場合は、「,」で区切ってください。

【【例】】

```
<meta name="keywords" content="キーワード,キーワード,キーワード" />
```

10-3.ページの作成

管理画面より、ページを追加することができます。静的ページなどを作成される場合にご利用ください。

ページの追加機能は DB 上に page 表示用のデータを持ち、実際のテンプレートファイルが./file/page/以下に保存されます。

ページの追加

名前 (※ 英数字) [必須]	<input type="text" value="sample"/> 1
権限 [必須]	<input type="checkbox"/> 未登録 <input type="checkbox"/> 会員 2
自動リンク [必須]	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; margin-right: 5px;"> リンク無し リンク無し テキストリンク 画像リンク </div> <div style="margin-left: 10px;"> } 3 ソース </div> </div>
<pre> <div id="(!--# ecode drawItemsId #--)"> <div class="wrapper"> <!--ヘッダーを表示--> <!--# include head #--> <div class="pankuzu clearfix"> HOME </div> <div id="main" class="clearfix"> <div id="full"> <div class="contents"> </pre> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: 4em; color: #800000;">}</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: 2em; color: #800000;">4</div>	
公開/非公開 [必須]	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開 5
<input type="button" value="確認する"/>	

- 1 ページ名を英数字で入力します。
- 2 ページにアクセスできる権限を設定します。

3 自動リンクの設定を行います。

【リンク無し】
どこからもリンクさせないページを作成します。

【テキストリンク】
リンク元をテキストで表示させることができます。
これを選択すると、リンク元のリンクテキストを入力するテキストボックスが表示されます。

【画像リンク】
リンク元を画像で表示させることができます。
これを選択すると、リンク元の画像を設定するボタンが表示されます。

4 ソースを入力してください。

5 公開/非公開設定ができます

6

ページの一覧

ID	名前	アクセス権	公開	URL	操作
P00004	sample	非ログイン/会員	公開	URL <input type="text" value="http://www.fudousanpro.com/demo"/>	ページの確認 <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

6 登録後、ページの一覧より生成されたページを確認することができます。

【例】生成されたページの URL
http://設置先/page.php?p=sample